

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（経営者）	それ以外	・今月は店の前で1週間道路工事があり、夜8時から朝6時までの通行止めにもかかわらず、来客数、売上共に前年比100%となっている。
	やや良くなっている	スーパー（統括）	来客数の動き	・食品の値上げがようやくニュースになって来たようだが、原料値上げにより仕入価格が上昇している分を店頭価格に反映させないで抑えている事が消費者の来店動機につながっているようである。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・人通りは今までとあまり変化はないが、特売品を出しても客の反応は今一つで数が出ていない。
			一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・残暑の影響で月の前半は紳士、婦人共に非常に苦戦したが、後半に店のマーケティングとして実施した、友の会の2倍ポイントが非常に盛況で多くの客が来店している。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・残暑が厳しく、月の前半は秋物衣料品の動きが鈍く、後半ようやく動き始めたが、前半に落とした分をカバーしきれしていない。食料品、服飾雑貨は前年並みである。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・中国産食品の問題が露呈されてから、国産の食品へシフトしているためか、単価が少し上向いている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・異常ともいえる残暑のため、秋物衣料（特にアウター）は大苦戦である。婦人の帽子、日傘などのUVケアと敬老の日関連の温泉繊維インナーは大きく伸びている。食品は食育としてのメニュー提案が若い主婦層から支持を受け、好調に推移している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上、来客数共に少しずつ戻ってきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が発売になり来客数は約10%増加したが、販売台数は前年比88%と全く景気の回復が感じられない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・通行量が落ち込んだままで、来客数も回復していない。メインの通りだけでなく、市内全体の夜間の人出が落ち込んでいるようで、以前と比べて車の量もかなり少なくなっている。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・今月は前年同月比150%の入込で良くなっているように見えるが、前年同月実績があまりにも低く、通常の集客では埋まらないだろうと早い段階で価格を下げたことで、ある程度の入込数を確保できたということがある。実際、単価を落として集客した分、人数の割りに売上はそれほど伸びていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・近隣に脚光を浴びる地域があり、当市は歴史と伝統にしがみついているような印象がぬぐえない。消費動向が近隣地域へ移行してしまっている現状で、市内全域に閉そく感が漂い、なかなか脱却できない。
		旅行代理店（副支店長）	単価の動き	・個人層は相変わらず安価なネットでの情報を得て来店しており、どうしても単価が上がらない状況が続いている。来客数もあまり変わらない。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・暑さのお陰で昼間の動きが良く、前年同月比で5%の増収につながっている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ここ最近消費者の二極化を強く感じるが多い。富裕層の場合、金銭的に余裕がある分、現状維持の傾向が強く、安さではあまり動かないので、景気は良くなってきても個人消費が上向きになっているとはあまり実感できない。
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数は前月まで順調に伸びてきていたが、今月は台風と総裁選の関係で今までより落ちている。単価は若干上がっている。		
ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・7～9月は月単位で自然環境が変化している。9月は台風、大雨が多く、予約はあったものの、キャンセルが多くなっている。昔と違い、今のゴルファーは雨の天気予報だけでもキャンセルをしている。		

	設計事務所（所長）	単価の動き	・景気が悪いまま変わらない状況の中で、仕事があっても単価は極めて安く、依頼する側も安いのが当たり前のような感覚でいる。仕事量が少ないので、安い単価でもやらざるを得ない状態である。
	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・供給が足りず、仕入れに結構苦戦している。売る物件が不足しているのに、単価は上昇傾向にない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・まちづくり三法関連の駆け込み出店などにより、ここ1～2年大型ショッピングセンターのオープンが加速しており、集客に影響を及ぼしている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・駅を挟んで反対側の商店街に4か月前ショッピングセンターがオープンした。そのあおりで当商店街に人の流れが戻らず、土日、祭日の客が少ない。そのため、平日より閉店時間が早めになってきている。
	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・お盆もそうだったが、彼岸、月見など行事の盛り上がりがなく、平日と変わらないような本当にひどい状態である。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・9月に入って秋物商戦が始まったが、暑すぎて秋物が全然売れず、来客数も減少している。特に婦人衣料が不振である。
	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・衣料品が大きく伸びていた3か月前に比べ、今月は残暑が厳しく、秋物がほとんど動かないことが影響し、前年比5%減である。店全体では住居品、食料品が堅調のため、前年並みを維持している。気温は必ず下がるが、下がるタイミングが遅くなればなるほど売上減の影響は大きく、取り返せない。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・9月は天候の影響で衣料品業界は非常に不調である。
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・ここ数か月昼のサラリーマンやOL客が激減しており、たとえ100円でも昼の出費を切り詰めようという厳しい状況が強く感じられる。
	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・9月に入り、平日の売上は例年並みか多少落ち込み気味であるが、残暑が長引いた影響からか土日、祝日の昼間の県外から来たフリー客が例年になく多い。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少しているのはもちろんだが、販売量、売上高も減少している。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・市内宿泊客が激減し、前年比60%と深刻な状況である。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・今までは2～3割あった旅行代理店関係の予約が今は1割になっている。辛うじてネット予約が3割近く増えてきたが、これはやはり個人相手ということで、大きな団体はなかなか取れなくなっている。
	旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・今月は法人団体部門が最悪の動きであった。1月から今月までみて一番悪い内容である。個人も夏が終わり秋にかけて今一つ反応が鈍かったようである。
	通信会社（営業担当）	単価の動き	・最近では食料品等の微妙な値上げやガソリンの値上げ等で少しずつ圧迫されているような感がある。
	悪くなっている	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き
住宅販売会社（経営者）		お客様の様子	・最近では客の動きが悪く、問い合わせ等も少ない。また、不動産フェアなどを行っても、人がまばらで前のような活気がなく、景気は悪くなっている。
住宅販売会社（従業員）		販売量の動き	・しばらくの間、住宅ローン金利は上昇しないのではないかという見通しを持った客が増えてきており、買い急ぎの動きは全く感じられず、物件の動きは明らかに鈍くなってきている。
商店街（代表者）		来客数の動き	・暑さのためばかりでもないだろうが、秋物の売行きがほとんどなく、2回の3連休の人も通常と変わりなく、せっかくの敬老の日の催事も気抜けしてしまった。
衣料品専門店（経営者）		お客様の様子	・残暑が厳しくて商店街に全く人が出てこない。
	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・中旬以降も日中暑い日が続いたために、秋物の動きが今一つ鈍い。

		家電量販店（店長）	販売量の動き	・地上デジタル関連商品の動きに陰りが生じている。話題性のある商品を購入する第一次需要層は購入が終わり、「2011年までに購入すれば」と思っている層とパーソナル使用の需要層が沈黙している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は3連休が2回もあり、タクシーを利用する人が少なく、売上が2割ほど減少している。私用でタクシーを利用する人が少ない。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・建物を建てたいという情報がほとんど入ってこない。6月20日の建築基準法の改正で、一般の人も分かってきたということもあるのか、民間では建てたいというような人は全くいないような状況である。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・取引先2～3社は受注価格、販売量、受注量共に良い状況で推移している。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・来月からフロン回収の規制が強化されるために、その受注量や保守、販売量の動きが活発になっている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・客の情報化投資は活発に推移し、受注単価は厳しい状況が続いているものの、引き合い、受注量共に増加傾向にある。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の値上げが相次ぐなかで、販売数は伸びていない。
		食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・消費者の舌が肥えているという今でも、全体的な景気のせい、所得に変化がないからか、安い商品の注文は増えているが会社の利益にはあまりつながらない。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・9月はフル稼働ができています。活気があるのはありがたい。工場内の塗装をしたり、かなり費用も掛かったが、工場内をきれいにする余裕が出てきている。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・建設機械、油圧機器向けの受注が引き続き高水準で推移しており、四輪駆動車向け部品も夏場の季節要因に左右されずフル生産となっている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・残暑により季節商材等の輸送量は伸びたが、燃料価格の上昇もあり収益的には厳しい部分がある。
	やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・印刷物の受注量が大変少なくなってきた。来月に向けてもやはり少ない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メインの取引先からの受注が下降している。また、サブの取引先は在庫調整により受注がゼロである。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・6月をピークに受注量が徐々に減りつつある。同業他社の動き、売れ筋もどんどん狭まり、かなり減速感が出てきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・デジタルカメラ、特に高額な物は安定生産を続けているようだが、総じて他の仕事については減少傾向にある。
不動産業（管理担当）		それ以外	・入居状況に変化はないが、空調設備などの大掛かりな設備機器の故障が相次いでいる。緊急に修理をしなければならず、予想外の修理費用が発生している。	
広告代理店（営業担当）		競争相手の様子	・ここ3か月くらいの間に、地場でキャリアのある同業他社の営業所撤退があった。首都圏の大手企業の進出が相次ぐなか、体力の差が地場企業にでてきている。大手資本の価格破壊により、見積額が非常に厳しくなり、売上、利益共に減少している。	
新聞販売店〔広告〕（総務担当）		受注量や販売量の動き	・9月も暑さが続き、秋物の売行きが悪いようである。例年この時期から動き出す寝具類も全く動きがないと聞いている。チラシの出稿量は91.0%と2か月連続で大きくマイナスとなっている。県内の他地域では80%台のところも出ている。	
悪くなっている	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・宝飾品が売れていない。また、ユーザー対象の展示会も不調である。例年9月は小売店でもイベントが多く回復してくるのだが、今年は回復の兆しが見えない。売上は前年比大幅減である。	

		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・当社は公共工事受注割合が87%と高い比率のため、県市町村発注の公共事業の削減が続いている中で同業他社との受注競争が激化し、赤字覚悟で受注せざるを得ない工事が続いている状況である。
雇用 関連	良く なっている			
	やや良く なっている			
	変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・今月末並びに11月にかけて当地区に複合型商業施設がオープンする。パートの給与など賃金も上がり気味で、募集広告の給与が変更され、上昇に入っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人、有効求人共に前年同月を下回る状況が続いている。小口求人は水準を保持しており、恒常的な技術者、経験者への求人が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数自体横ばい状態で、大幅な変化は見られない。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・専門的、技術的職業を経験した若年層には大変多くの求人があるが、中高年と事務等一般的職業への求人は依然厳しい状況が続いている。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・直接求人も若干あるが、送る人材に苦慮する場面が多い。求人職種等が学生の志向と違っていたり、モチベーションが低いためにエントリーにすら至れないケースがあることが理由である。
	やや悪く なっている	人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・生産関係の求人数についてはほぼ落ち着いた感じで、若干少なくなってきた。賃金の値上げは非常に難しく、ほぼ横ばいの状態で推移してきている。周辺企業等の生産稼働は住宅が若干伸びているものの、ほとんど横ばいである。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・派遣登録者数が微増している。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・正社員募集は平均して少ないなか、パートアルバイト募集も若干減少気味である。特に求人募集が目立つのは、遊技場、パチンコ店などである。
悪く なっている	-	-	-	